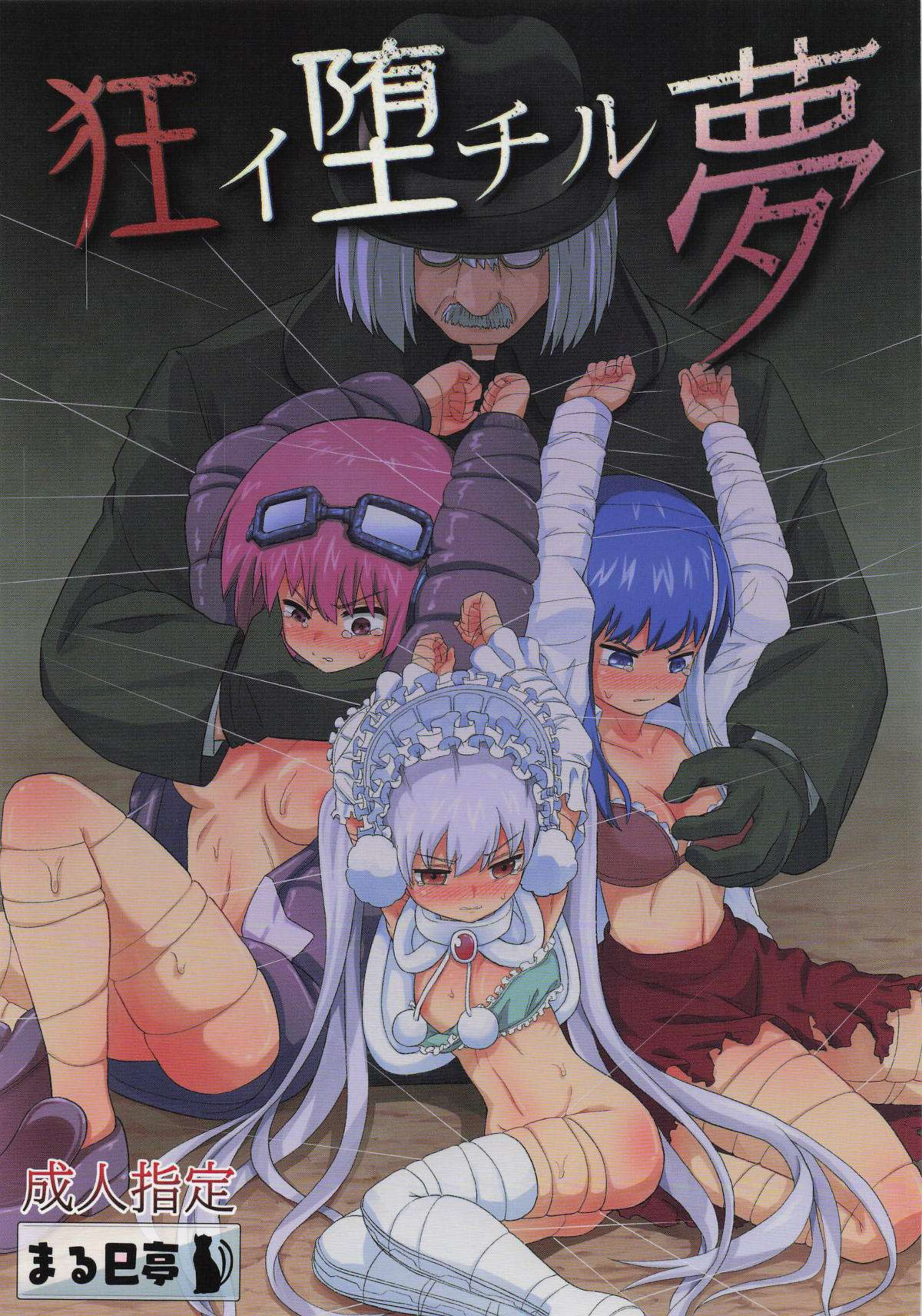


狂イ堕チル夢

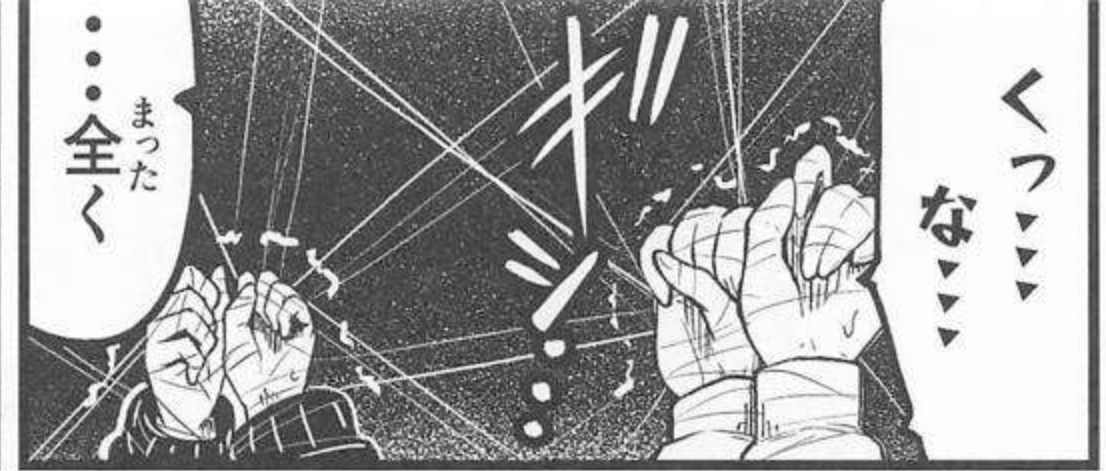


成人指定

まる巴亭 



あさ
旦の情報で
来てみると
思ったら...



くっくっく
な

まった
全く



いったい
一体どういう
事なんだい



まずいぞ
ふたば
...二刃

これは
はがねぐも
鋼蜘蛛だ

うば
奪われた
のかい？

キキ

まさか

ただ俺以外に
鋼蜘蛛を作り
扱える人物なんて
一人しかいない

...そうだろ

とう
父さん

・・・やあ
会いたかったぞ

いと
愛しい
子ども達よ

みな
つど
皆が集うこの時を
どこほど待ち
焦がれていたか・・・

嘘だ!! だって
あなた
貴方は……!!

例えソメイニンを
誤魔化してようが

やつ
奴は旦に
作り変えられた

抑えろ太陽

誰よりも近くで
見てきた
俺にはわかる

単なる人形だ

……ひどい
じゃないか
凶一郎……

実の父親に
向かって
その言い草
とは……

確かに私は
旦の手により
甦りはした

が……甦ったのは
私に果たすべき使命が
あったからこそだ

それは他でもない……
お前たち夜桜家の皆
と心を一つにする事

そのために

お前達と愛を
育むことだ

な...な



ちよ

もぞ

もぞ

何すん

ツツ!!

何って...

四怨を愛する
ためじゃないか

もじ...

長い戦いの中
私は考えたのだ

どうして我々が
争わなければ
ならないのか

我々には何が
足りないのか...

そして熟考の末
私は辿り着いた
のだよ



あい
愛だ

愛こそが全ての
答えなのだ

私にはお前たち
への愛情が不足
していた

だからこそ今
全力をもって愛を
注ぐべきだと

離せッ

これは父親と
しての責任だ

なやめろ
おやし
クソ親父!!

おい!!

な
舐め
んなつて

殺すぞ!!!

クソ親父





凶一郎

無駄だ

こんな拘束など
指先一つあれば

痴れ者が...



お前を最も
警戒していた
からな...

もちろん対策も
させてもらった

私の撒いた鋼蜘蛛を
お前の鋼蜘蛛に
潜り込ませる事だな

そうして
中から
細かく解き
分解する

先程から
引っ掛かり
を感じない
だろうか？

キリ
キリ
キリ

お前だけ
じゃない

主戦力である
二刃の合気や
辛三の鬱金も

いまや全て
私の支配下だ

あきらめ
なさい

お前達

……というわけで
続きだ四怨しおん

ダウンの下は
ズボン以外何も
着てないとは……

昔から四怨は
自覚が足りないな

お前が皆から
どう見られてるか
知らないのか？

おい……コラ
下……あ……!!

成人向けスパイ雑誌
では「犯おかしたいスパイ
ランキング」5位

「盗撮とうさつしたいスパイ
ランキング」3位

「ハメ撮りどしたい
スパイランキング」
では堂々1位だ

やあ……あつ

情報通のお前
が知らないわけ
はあるまい？

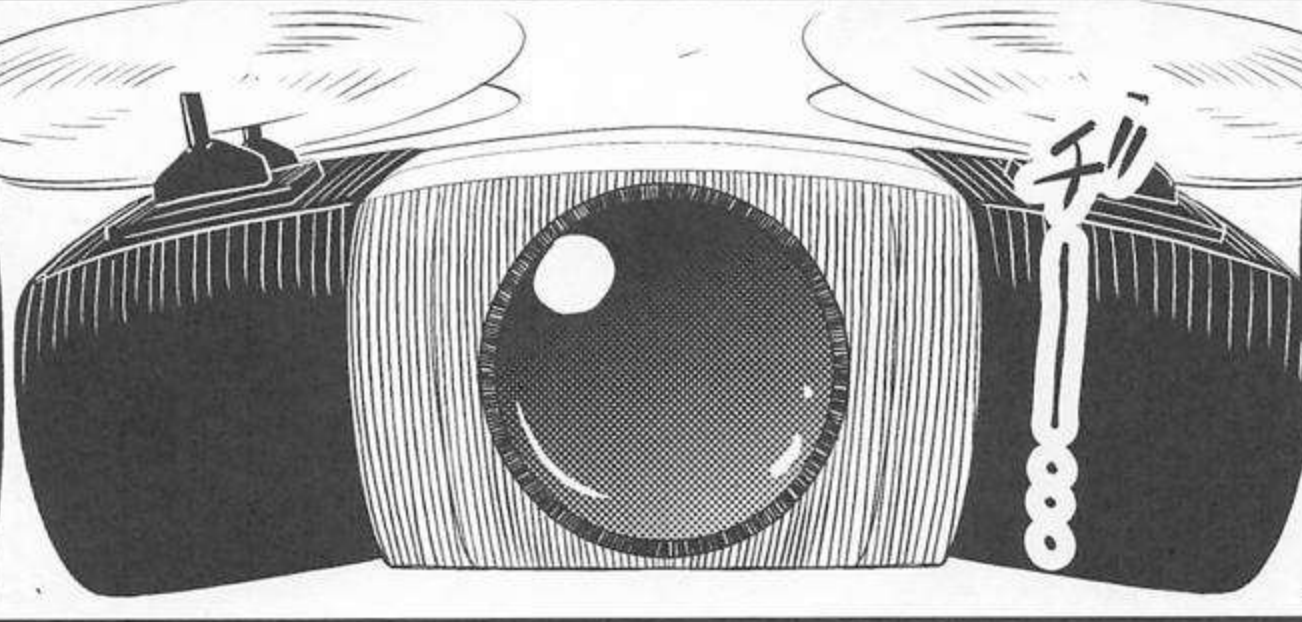
おお
気付いたか



な……？



四怨のファン達
に見て貰おうと
用意したんだ



どうせならと
思ってたな



さあ……隅々まで
見てもらおうな
すみずみ



世界中へ我々の
様子が配信
されているよ



今やこの配信を
通じて――

・近親
・父親た
・はよ
・四怨たん
・まっ
・近親レイブ
・頼むガンガン犯してくれ
・ヤベーな
・ちょっと抜いてくる
・まだ何も始まってないぞ



やめ……やめ

カ
チ



ほら四怨

みな皆にしつかり
見て貰いなさい

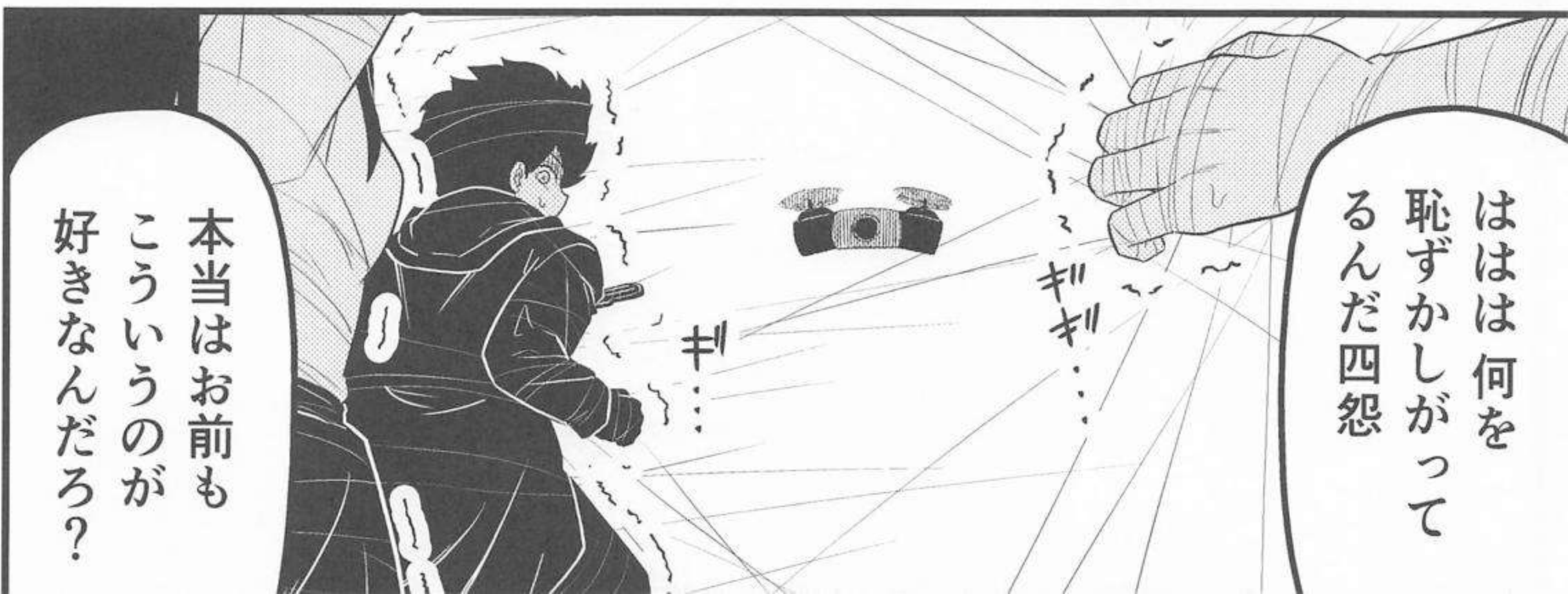


奥まで見れる
ようにひろ拡げて
やろう

クチュ...

ガッ

ざお...め



ははは何を
恥ずかしがって
るんだ四怨

本当はお前も
こういうのが
好きなんだろ?

キーン

お♪投げ銭も
いちおくとっば
一億突破したぞ♡

みんな四怨が
大好きだな♡

なッ

ほッ

手っ

ほッ

やめろ
おやし
クソ親父!!

喜ばしい事
じゃないか

今頃画面の向こう
で沢山のファンが
興奮しているに
違いないぞ

よし
そしたら

おッ

スリッ
スリッ

もっと興奮させて
やらないとな

ほら四怨
父さんのを
啜くわえなさい

ふギッ

ガッ

見てないで
止めに来いよ
この豚ぶたども!!

キーン



良いロマンコ
だったぞ四怨

次は・・・そうだな

は

は



ふう・・・

あ~~~~~

おっおっ

ズッ



どうせなら
下の口の具合も
確かめてみるか

がつ

おお...

ちっへき
腔壁がペニスに
絡み付いてくるぞ

ががが

そんなに父さんのが
欲しかったか？

それならそうと
早く言いなさい

はっ

はっ

おっ

まったく
全く...こんなに
卑猥な身体に育ち
おって...

いけない子だ

にくしつ
肉質だけなら
当主に匹敵する
ひつてき
かもしれないな

よくぞここまで
育ってくれた

愛しの
我が娘よ!!

かげん
いい加減
に...

そう思わないか
むつみ
六美？

しろ!!
クソ親父!!!



……な

ほ

何で止めて
んだよ……

ほ

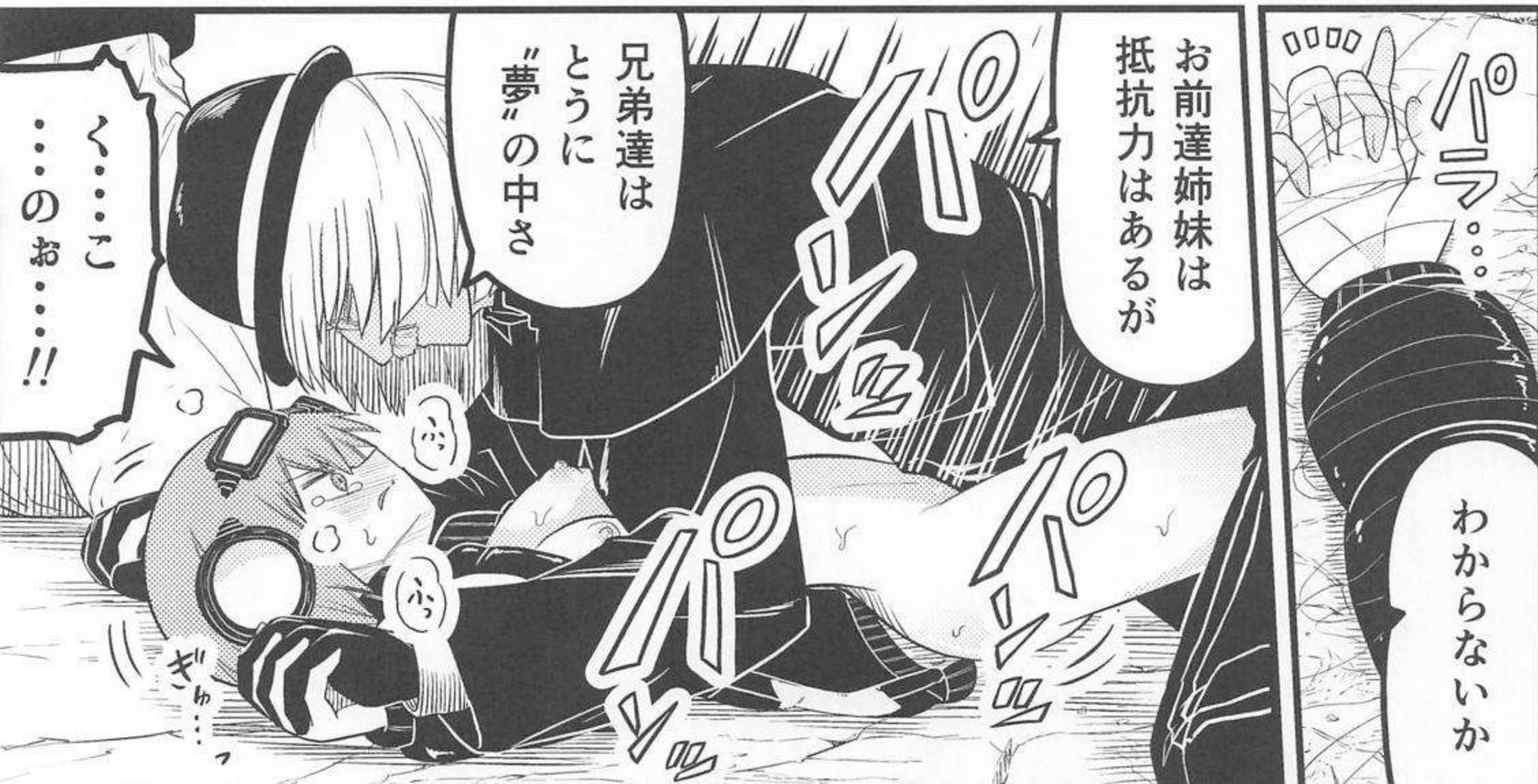


キーン……

……!!
辛三兄
しんぞうにい

嫌五……
けんご

キィィ……



……のお……!!

兄弟達は
とうに
“夢”の中さ

お前達姉妹は
抵抗力はあるが

パラ……

わからないか

ギィ……



でも四怨
安心なさい



お前達もいずれ
"夢"の中だ

はっ

はっ

はっ

はっ



その頃には
おぼ
快樂に溺れ
みずか
自ら腰を振る
ようになるだろう

はっ

はっ



われわれ
そして我々
夜桜家全員で

はっ

はっ

はっ

えいえん
永遠に愛し
合っていくのだ

はっ

お前達も参加
したいだろう

わかったよ
父さん……

辛三お前は
四怨に啜えさせて
やりなさい

そうだ……

え……

ヤッ

四怨

お兄ちゃん
ちんちんを
啜えるんだ

歯は立てる
なよ

その調子だ
四怨

喉^{のど}の奥まで
頬^{ほお}張るんだ

んん……おっ

おっ

ゴロ
ゴロ
ゴロ

んん……おっ

ゴロ
ゴロ
ゴロ

ヒクッ!
ヒクッ!



素晴らしい
じゃないか!!

上の口も
下の口も
繋がって...

これこそ
家族愛だ!!!

なあ四怨
私達は奥深く
まで愛し合っ
ているのだ!!!



さあ...今度は
交わりの証拠を
残さなきやな

お前の子宮おくに

父さんの精子愛
をぶち撒けるぞ



辛三も一緒に
出しなさい

いいな

ああ
父さん

さあ
イクぞっ

だ
射精すぞ
四怨!!!

だん
だん
だん!!!



今度は二刃ふたば
の...おや

もう既にすで

キ!!

キ!!

始まっている
みたいだな

七悪!!
ななお

およししよし
正気に戻りな!!

それ以上やったら
あつごら!!

いい加減にしないと
怒るよ...ヤツ

下は
ダメ...

クニクニ

クニクニ

ほほえ
微笑ましい
じゃないか

どれ…私も
手伝ってやろう

二刃に比べて
七悪が大きいすぎる
かもしれないが…

でもきつと
大丈夫さうん

おやめ
七悪!!

カチカチ
カチカチ

七悪!!

責任感の強い二刃なら
長女
きつと受け入れて
くれるに違いない

おやめ

やめ
やめ……





ああ…

はあ
はあ

はあ
はあ

はあ
はあ

なんと…

なんと激しく
愛し合って…
美しい…!!



もう我慢
できん

さあ二刃

んッ?!

父さんのも
愛しておくれ

奥まで
味わうんだ



ああ…我が子^{二刃}が
挿入れられてる
姿だけで

こんなにも
興奮するとはッ

二刃ッ

ああ
二刃よ!!!

おおッ

で
射精するぞ
二刃

私達の精子を
受け取れッ

二刃ア!!!





ふう……っ

良かったぞ
二刃……

さて……
そしたら

ス……



私達の跡を継ぐ
現当主の娘

誇らしいと
同時に……

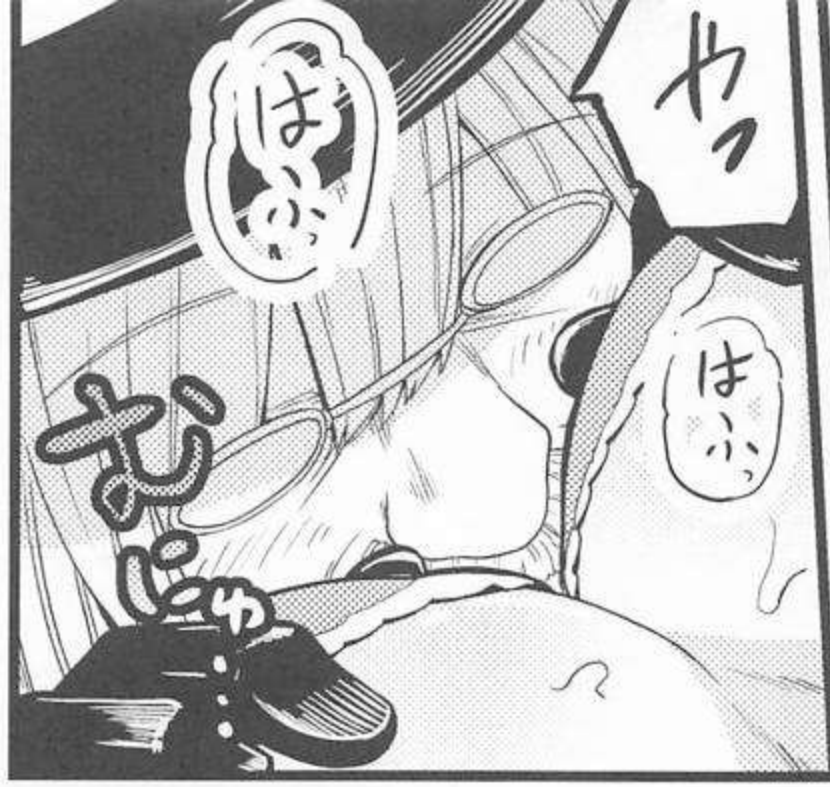
犯愛せるこの時を
待ち望んでたぞ



次は六美

ヒッヒッ

お前の番だ



おお・・・
見ない間に
成長したな六美



いっやっ
お父さん
やだっ
もうこんな
やめてやだっ!!



お前はまた『夢』に
抵抗できてたな

そうだ
太陽

なら...



どうせなら
私と六美 親と子が
愛し合う姿を

目の前で眺めて
もらおう
じゃないか？



た…

太陽…



キ…

貴様アア…!!



父親である
私のモノが

現当主の膾に
沈み込む瞬間だ

私は大丈夫：
だから

絶対負けない
から：：！！

素晴らしい
夫婦愛じゃないか

かっ
あ
おっ

頑張って
一緒に乗り
越えていこう

父さんも応援
するからな

まるで零との日々を
思い出すようだ……

あ……あ

あ……

おっ・・・なんだ
キツキツじゃないか
六美・・・

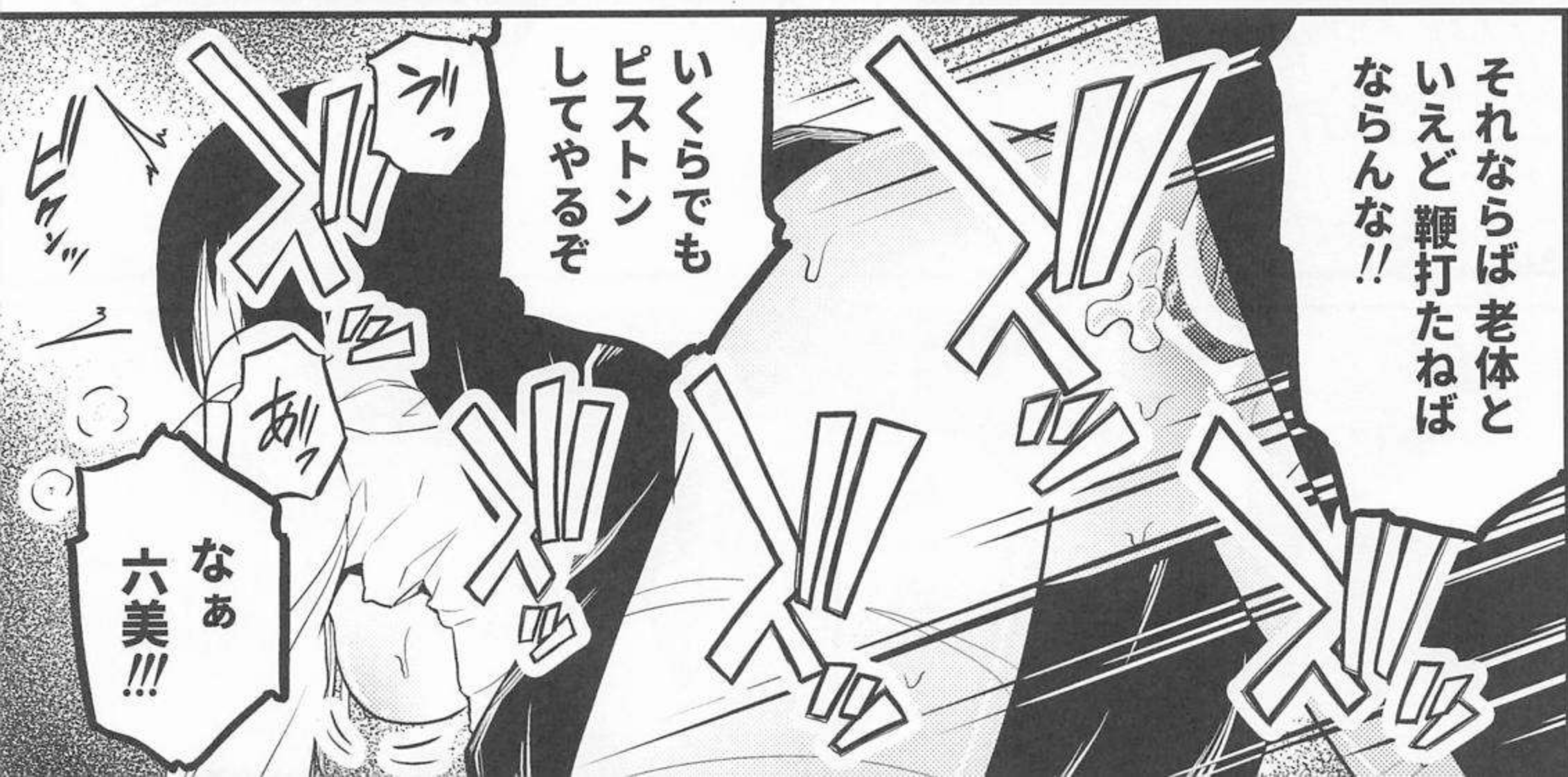
父親のモノにも
遠慮なく必死に
絡み付いて・・・

まるでお前も父さんの
モノをずっと欲しがって
いたみたいだな

それならば老体と
いえど鞭打たねば
ならんな!!

いくらでも
ピストン
してやるぞ

なあ
六美!!!





そうだ…
なんなら

皆も参加
してみようか



あ…

キィ…

あ…あ

イィ…



や…
やだ…

はっ

はっ

皆やめて…

目を覚ま
して…!!



お前達もあとで
実妹に挿入れて
やるんだぞ

うん

現当主の穴という
穴を犯し尽くすのは
夜桜家の務めだからな





ははは
凶一郎は誰よりも
六美を愛している
ものな

良かったな
凶一郎
念願の愛する妹と
漸く結ばれるぞ



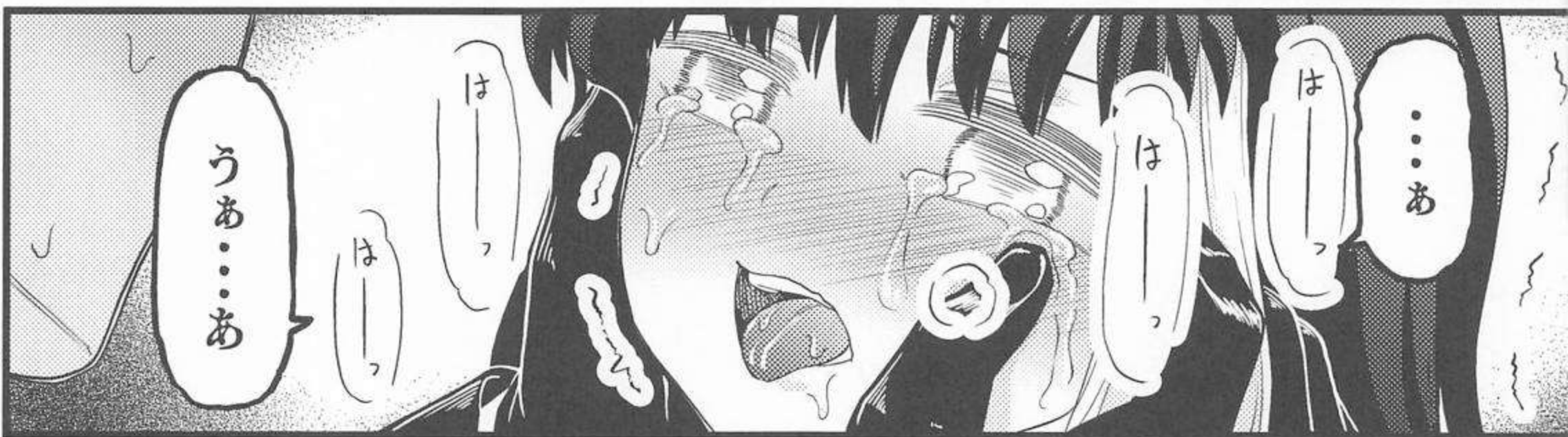
そろそろ
精子が上がって
きたようだ

六美の奥まで
注いでやるからな



あ~~~~ッ
イクイクッ

だ
射精すぞ
六美!!!



さあ皆

ぞんぶん
存分に
愛し合おう

夜桜家同士で
固く繋がり合い

今こそ一つに
なろうじゃないか

〔奥付〕

狂イ墮チル夢

発行日 2025年8月16日 初版発行

発行者 まる巳亭

印刷会社 有限会社ねこのしっぽ

連絡は下記問い合わせフォームよりご連絡下さい。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/5b86c6e9840948>



無断転載禁止。

無断転載は作者の収入を妨害し、
代わりに違法アップロードを行った
犯罪者の利益に繋がります。

※本書の内容はすべてフィクションです。
実在の人物・団体とは一切関係ありません。

